

雲陽志 島根郡下

二

和書門			
二九二九	二九二九	二九二九	二九二九
一四	一二	三九	號類
冊	架	函	

庫	文	閣	内
一七五	二九二九	一四	和書
九架	冊	號類	



内閣文庫		
番號	和	29291
冊數	14	(2)
函號	175	135

地四二

内一〇九九八



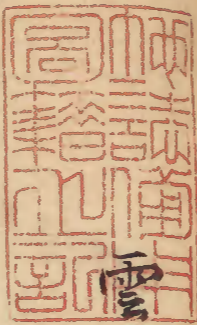
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





陽誌

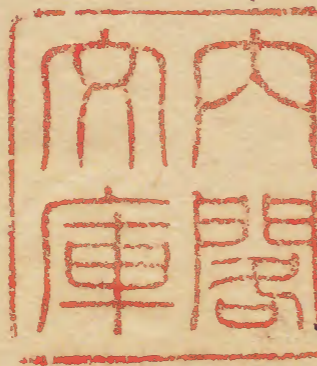
嶋根郡下

下川津

雲陽

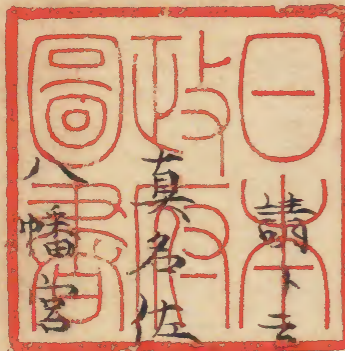
黒澤弘忠撰

内一〇九八號



海崎ト云処ニアリ響田天皇ヲ祭ル社三尺四方西向祭礼八月十日ナリ山城国久世郡石清水八幡ヲ遷シ奉ル何レ比何今勸

請下云云不知慶長七年建立棟札アリ



真名佐明神

西神一地ニ祭ル社各ニ尺五寸四方西向祭日ニ社氏ニ八月十五日ナリ
真名佐ノ神ハ天御中立尊八幡宮ハ譽田天皇ナリ西社トモニ
勸請年曆不分明元祿元年洪水ノ時社破損ニタリニ今村氏
修葺シタリト云社前ニ川アリ真名佐川ト云リ

荒神セケ所

道祖神

猿田彦命ナリ松ヲ神木トス

御前神

地主神

何ノ時此ニ祭ルト云コトヲシラズ松ヲ神木トス俚民山伏塚トモ云

水神十四ヶ所

阿弥陀堂

中尾ト云処ニアリ長覚寺トイヘリ

辻堂六ヶ所

古塚

納左ト云処ニ四ツアリ古老傳ヘ云一ツハ道仙ト云者ノ塚ナリ一ツハ盗人
塚ト云一ツハ石佛櫻アリ一ツハ松ヲ植タリイカナルイワレアルカモシラズ

古塚

小松谷ト云処ニ山伏塚アリ

石橋

長サ一間横四尺古老傳曰昔善徳ト云者此石ヲ負ヒ来リ橋ニワ
タセリイツレノ地ト云フハシラズ今ニ到リテ善徳橋ト云ナリ

羽黒権現

天照太神ヲ祭ル本社四尺ニ五尺南向拜殿九尺梁三間大永六年造
立棟杓アリ宝永四年マテハ百八十七年ナリ大永以前ノ社ナルベケレドモ
書記ナケレバ知カズ

荒神ニケ所

西尾

三社明神

鶴草菅不合尊玉依姫豊玉姫ヲ祭ル本社二間四方東向拜殿二
間梁四間祭礼六月十五日九月九日西度ナリ九月九日ノ祭ハ東
西両川津村西尾村ノ氏人集リテ神交ナリ競馬又一ノ神子ニ神子
トテ七女二人髪ヲサケチハヤラ著テ馬ニアト向ミノリテ社参スルナリ古
来ヨリノ儀式ナリヤフサメ獅子舞有南北三所ノ馬場アリ南ノ馬場
ハ未途宮有北ノ馬場亦腰掛岩トテ大石アリ神交ノ役者此岩ニ
腰ヲ掛鬼門ノ押トモフ祭アリ天正年中マテハ勤メ来リシカイツノ比ヨリ
カ絶テ今ハ其交ナシ六歩ハカリノ田アリ此田ハ古ヨリコヤシヲ入レズ作リテ
神供ニ備ルコト今ニカワラズ井持トモ処ニアリ水キヨシ此水ヲ神木トセリ
今ニ至人此水ヲ汲コトナシ昔ノ遺風今ニカワラズ井持トモ云ナリ古

老傳、明神往古此処潛戸ト云所ニ來リテ杵築尾ト云山ニ登リ
四方ヲ見ヤリテ内窪ト云処ニ移リ玉ト一箇四方ノ名アリ此石ニ坐シ玉トテ
今ノ鎮坐ノ地ヲ定メ玉ヲナリ明神腰掛岩トテ今モ服忌アル人ハ此岩
ノホトリハ行フナシ

八幡宮

應神天皇ナリ社五尺ニ六尺南向祭祀九月十五日

天神

社四尺ニ五尺南向祭祀九月廿五日ナリ

御前森

三ヶ所アリ

客神

二ヶ処トモニ建御名方命ナリ

幸神

三ヶ所猿田彦命ナリ

山神

三ヶ所大山祇命

荒神十四ヶ所

地主神

水神八ヶ所

圓流寺

天台宗照高山ト云本尊不動明王ナリ寛永五年堀尾山城
守忠晴ノ建立山上ニ東照大神君之神宮ヲ勸請シ奉リ石ノ
鳥井ヲ立テリ明暦元年太守源直政公神宮ノ右ニ大猷院殿
ノ靈堂ヲ造立シ鐘樓ヲカマヘ玉ヒテヨリ嚴有院殿ノ靈牌ヲ安置
シ奉リ四月十七日ノ御祭礼同月廿日五月八日ノ御忌日ニ御
佛多アリ毎月太守ノ参詣ヲコタリ玉ハズ夫太神君者三河ノ
国ニ生レ玉ヒ御成長アリテ武威隣国ニアラハレ不順ノ者ヲウチ
降ル者ヲバナツケ玉ヒテ日々ニサカニシテ明智ヲウチテ信長ノ
讐ヲ報ヒ玉ハシ御志ヲハカマシ秀吉ヲ多クテ小田原ノ大功ヲ立
三成ラセシ大坂ノ乱ヲシツメ終ニ天下ノ大平ヲナシ玉ヒ御子孫ナ

ガク萬々世ノ御代トナシ玉フコトイヤシキ筆ニテ悉ク書シルニ奉ルモ
恐レアレバモラシヌ抑照高山ノ詠メ前ニハ湖アリ向ニハ矢野ノ里
ヨリ津田白瀉天神ノ森林大橋長ク横タワリ末次ノ市店松江ノ
府城クモミソビヘ西ニ持田村ノシゲニ菅田川ノ田畑ニハ麦ノ浪ヲ起シ
稻葉ノ色ニ民ハ年ノ豊ナルヲ歡ヒ又嶽和久羅ノ高山東ニ多賀
社手間ノ関ハ幡ハヤシ神師錦ノ浦ニワキ焼嶋ノ浪ニ移リタル
伯耆ノ大山ニテ皆目ノ前ニアツマリ殊ニスクレタル風景ナリ

長福寺

浄土宗宝光山ト云本尊阿弥陀如来慈覺大師ノ作ナリ境内
ニ小堂有觀音之像ヲ安置セリ一躰ハ弘法大師ノ刻彫也ト

云傳ヘタリ島根郡順礼礼所ナリ此地ヲ梶谷垣トモフイカナル
故有リシヤ不知ナリ

大日堂

古ハ神宮寺ナリト云

観音堂

三社明神ノ馬場末ニアリ古ハ明神祭禮ノ時御旅所ナリト云

辻堂ニテ所

石地藏

古城

和久羅山ト云朝酌村ニ委シク記セリ

朝酌

風土記ニ載ル朝酌郷者熊野大神ノ尊朝ノ御飢勸養ノ
ノ御飢勸養五藝緒ノ所定給故ニ朝酌ト云福留大井大海
崎ヲ加ヘテ一郷トス間浮ヨリ福富村ニワタル処ヲ朝酌ノ促戸ノ
渡ト曰フ神書ニ出雲ノ御大ノ御前ト者大海崎是也大井村ニ
冷泉涌出ル所アリ

多賀明神

伊弉諾尊神直日神大直日神ヲ祭ル本社一間四方西向幣
殿二間、一向拜殿二間梁、三間隨神門鳥居アリ祭礼三月
三日八月十五日九月十一日ナリ毎月朔日十一日十五日神供ヲ備

後ヲ勤歳越ノ神交アリ當社ノ縁起ヲ見ルニ朝酌郷布自岐美
社多賀明神ハ伊弉諾尊也コノ山ヲ月向山ト云東西一町南北一
町半アリ朝酌トハ此処ニ鎮坐シ玉ヒテ朝御饗勤養夕御饗勤
養五贄緒ノ処定給フヨリテ朝酌ト名ツケ玉フ此山少トイハ凡
諸木羅立テ花ハ春風ノ笑ヲナシ夏ノ緑ハ晴天ニ滴リ秋ノ紅葉
ハ山ノ姿ヲ粧ヒ古松ノ冬ヲシラズ四時ノ碧ハ霜雪ヲ凌キ歳寒ニ
賦リヲナスカ如シ後ニ高山アリ前ニ湖水アリ西ニ八津田ノ里ノ豊丸
八幡ノ本林モ遙ニ見ヘ伯耆ノ大山モ雲ニツギテ瀟海ノ東ニ聳ヘ月
ヲ遮ル雲煙ニナケレバ月向山ト云モ故アルベシ社ノ北ニ小キ山ニアリ
魚見山ト云ヘリ陰神伊弉冉尊ハ秋麻郡佐田山ノ麓ニ別宮ヲ定

玉フ陰神陽神出雲ノ国ニ鎮坐シ玉フ故ニ此国ニテハ十月ヲ神在
月トイフ日本ノ八百万神十月十一日神佐陀山ノ麓ノ社ニ集リ給
ヒ同廿五日神佐陀山ノ社ヨリ此宮ニ集リ玉ヒ八百万神朝ノ御饗
夕ノ御饗閉召玉フ時多賀明神惠美酒宣ヒテ奠ラクニテ御
饗津ニ備ヘ玉ヒトアリケレバ惠美酒竹木ヲ天磐舟ニ積猿田彦
余舟ノ長トナリ梶ヲ取り是ヨリ埒ノ方水中ニ竹木ヲ指テ魚ヲ酌マ
是峯ノ初ナリ此故ニ世人峯ノ宮トモ云又山ノシケリクレバ大蛇アリ
トテ蛇ノ宮トモ云皆此世俗ノ云アヤマリニテ其コトバナシ八百万神ハ山ニ
登テ惠美酒ノ魚酌玉フヲ見給ヘルニ魚見山ト云ナリ十月廿五日
ニハ幣ヲサケテ魚見山ヲ清ムル古来ヨリ今ニ至リテ急ラズ惠美酒

魚ヲ取上ケ御氣調ヲ奉ル是ヨリ魚ヲ祭ル^{マツル}始リ今、絶ヘストナニ
惠美酒魚ヲ酌玉^{ツク}所ヲ代倉ノ荃ト云朝酌ノ郷ノ荃ナリ津田
ノ郷ヨリ押領シタリ然ルニ鎌倉三代前陸奥守平廣允朝酌ノ
郷ノ荃ニ紛ナシ早ク先規ノ如ク朝酌ノ郷ハカヘシ附ベキトノ證文アリテ
今朝酌ノ荃トハ成タリ當社左ノ社、惠美酒是蛭見尊ナリ船玉社ハ
猿田彦命右ハ山王社大物主命多賀明神ノ末社ナリ祠官傳テ云
明神月向山ニ在ス時唐船海上ヲ西ヨリ東ヘ通リケルガ舟ニ沈香之
青木ヲ積タリ其時明神公羽ト現レ宣ヒケルハ此崎ヲ青木積テ通ル
日本ハ我國ナリ此岬ニ船ヲ留テ汝ハ陸ヘアカルベシ我ハ爰ニアリト宣ヒ
テ俄ニ雨フリ波風アラク土ヲモリカケテ舟ハツイニ山トナリ青木モ生ツキ
タリコノニヘ、山ヲバ唐舟山ト名付玉ヒテ宮作りシ玉フ今ノ宮地是ナリ
里民傳テ云此山ニ沈ノ青木アリト見シル人ナシ神ノ惜ミ玉フヨリ人ハ見
アヌラサルカ今ニ山中木葉ニテモ取ラズニ町四方殺生ヲカクシ禁シ玉フ
古來ヨリ當社ニ矢除ノ守アリ三種矢除ノ守ト云慶長年中當國
大守堀尾山城守忠晴大坂出陣シ給ヒケルニ彼守ヲ當社ヨリ借給
ヒケルニ爰故ナク歸國シ玉フ寛文年中太守直政公將軍家ノ御
名代トシテ上洛シ玉フ時モ此守ヲ借給ヒ首尾克歸國也其孫源綱述
公入國アリテ參勤ノ時借玉ヒ目出度返シ納メ玉ヘリ毎年十二月
廿五日此宮ニテ諸神ハ御氣津ノ魚ヲ奉ル十月廿五日ノ夜ハ古ヨリ
境内ハ人行衰シテ今モ又然リ此日ハ諸神依陀山ヨリ當社歸リ

玉フト云フ社頭ノ森ニ生食鳥ト云傳テ一番ノ鳥アリ此鳥左右ノ翼ニ
白キ羽三枚ツ、アリ古來ヨリ時節ヲ定メズ今ニイタリテ来レリ見タル人
多シ常ハ何ノアルトモシレズ又子ヲ生スルトモ見ヘズ外ニタガヒモナクイワモ
ニツナラデハ見シ人モナシ此外色々神威多シト云傳レトモイワノ比カ社
司ノ家ニ火難アリテ縁起羊ヨリ末ハ焼テ見ヘズ今ハ知リタル人モナシ
元祿十年八月十日ノ夜湖水ヨリ神燈^{シトウ}上リタルヲ見ル人アリ同十一年
ニモ又上レリ往來夜舟ノ人網引漢人ノ見タリトテ慥ナルヲナケレ
ハ社司夜ゴトニ五日ニテテ窺ヘテ終ニ見侍ス其父七日モノイミテ社
近キ民家ニ入テウカヒケルニアル夜陸ヨリ四五間沖ノ水中ニ光リテ
テ丹々トアガル初ハ女ノ炭火ノコトキモノナリヤウヤクフトクナリテ五六

十月ノ蠟燭ノ如ク鳥居ノ上ヨリ三四尺モ上リテ空ニカレリ後ハ白キ
煙ノ如キモノニロクワ、ミテ三尺マハリノ提燈ノゴトニ其時明ナルコト書ニ
トトシ山ノ木葉モ見ワクルホドナリ一時アマリ燃ヒカリタリ祠官一人
見ルモ證據ナシト思ヒ近キアタリノ但氏ヨ伴ヒヨク見タリトモ其後ノ
夜モウカヒケルニ右ノ光ト同シ今ニ至テアガルフアリ夜行ノ人見ルコト多シ

山王社

大物主命ナリ社四尺ニ五尺

船王社

猿田彦命ナリ社二尺ニ二尺五寸

惠美酒社

蛭見尊ナリ社ニ尺ニ二尺五寸右ノ三社ハ多賀明神ノ境内ニアリ
熊野権現

伊弉册命ナリ社三尺四方西向

小森八幡

應神天皇ナリ社三尺四方西向

大森明神

宇津名姬命ナリ本社一間四方西向拜殿九尺深ニ三間

羽黒権現

天照太神ナリ社二尺四方

若宮

国狭樞尊ナリ境内五間ニ三間社ナシ

客明神

榎ノ木ヲ神木トナシ建御名方命ヲ祭ル此所客尾原ト云リ古老
傳ニ和久羅山ノ城主ナリトモ云侍レドモ委シ不知

道祖神

猿田彦神ヲ祭レリ大森明神ノ境内ニアリ

山王

大山祇命ナリ社二尺四方

荒神十ヶ所

水神三ヶ所

寺跡

ニヶ所アリ古老傳ニ慈雲山一城寺ト云ハ和久羅山ノ城主ノ菩提寺
ナリ今ニ寺跡ニ石垣ナド残リテアリ東光山長善寺ト云ハ二保ノ城主ノ
菩提処ナリ城主ノ像今ニアリイカナル人ト云フ不知

禅雲寺

禅宗ナリ岩水山ト云本尊阿弥陀運慶ノ作ナリ東ノ方滝アリ

観音堂

海流山正学寺ト云寺跡ナリ何時カ小堂ヲ建テ観音ヲ安置ス

辻堂ニヶ所

十五堂

石佛

長四尺五寸何ノ比カ此邊ヨリホリ出セリ

和久羅山古城

此城ハ厄子勝久出張ノ要害ナリト云傳フ城主多賀肥前守ト云人也
永祿年中原田右衛門大夫多重ト云人在城シテ厄子方ニ属シタリシガモ
利元就ヲ攻メ時石別江ノ川ノ出陣シテ戦ヒ負テ落城シ大江羽林ニ
随遊シタリ此時白麻和久羅ノ兩城ハ小出大和守其外大勢相守リ
タリ

二保山古城

古老傳ナケレハ城主不知

岩屋

三尺ニ四尺入一間半奥ノ廣サ四尺ニ七尺高サ八尺ナリ

峯

多賀明神ノ記ニ見ヘタリ風土記ニ大少雜奥来湊ルトアリ

柴手

氷奥ヲ取処ナリニヶ所アリ是モ峯ト同シ時ヨリ有ナルベシ氷奥トハ白奥ニ

川

山川ナリ東西ノ流ル一里アリ

矢田渡

二町半ワタシ宇アリ

松崎嶋

土手

湍除ノ土手長サ五百九十間

清水

土井清水ト云

福留

阿弥陀堂

本尊作不知

大井

七社明神

風土記大井社アリ大國主神ヲ祭ル本社一間ニ二間拜殿二間ニ三
間天正六年地頭野村宮松九建立祭礼九月九日末社若宮ヲ
勧請ス

荒神

八幡

明見

御崎

客明神

何レモ社ナシ森ヲ神トス

太淨宮

何ノ神ヲ祭ルヤ未詳

大海崎

十二所権現

伊弉諾伊弉册大日靈貴素盞鳴五男三女ナリ社四尺四方東
向拜殿二間梁ニ七間祭礼二月八日^月兩度ナリ

荒神

清水

此水スグシテ冷ナリイカナル暑サニモ暫クヒタセバ手足凍ヘタルカ如シ
風土記ニ邑美冷水ト書ス

宇部尾上下

竹宮明神

火酢芥命ナリ社四尺四方東向祭礼二月八月西度ナリ天文十
九年ノ棟札アリトモ勸請不知

津森明神

径津主命ナリ社四尺四方東向拜殿二間梁二間半祭礼竹宮ト同

日ノ

荒神

二所有真津彦命真津姬命ヲ祭ル櫻ト椎ヲ神木トス三年ニ一度
十月祭有定日不知

御崎

国常立尊ナリ松ヲ神木トセリ

客神

建御名方命ナリ榎ノ木ヲ神ト称ス三年ニ一度十月祭礼有日定ナシ
長福寺

禪宗ナリ海久山ト云本尊薬師如来

辻堂

本尊地藏

蛇池

サイが鼻ト云処ニツノ池有古老傳云昔枕木山ニ住タルセツナハツナ
ト云ヘルニツノ蛇此処ニ逃タリト云今角トギ石トテ同シ山ツキニアリ

堤

新庄

倉稻明神

都留支彦命倉稻魂神ヲ祭ル社七尺四方南向拜殿二間梁四間
祭礼九月十九日ニ米一斗八升ノ御供ト四斗八升御酒造リ備ル
ナリ古老ノ云ヘルハ此社百年バカリ以前ハ北町ホト山奥ノ峰倉稻

越ト云処ニアリシガ十一月ノ祭礼ニ雪フカグ社参難儀アルニヨリテ
今ノ宮地ニ遷タリト云サルニヨリ其所ヲ俚民倉稻越ト云ナルベシ

日御崎明神

天照太神ナリ社三尺四方東向祭礼八月十三日ナリ當村陸ヨリ
十間斗リ沖ニ船嶋ト云島ニ鎮坐ナリ此島ヨリ十町アリ沖ニ鳥
帽子島ト云アリ是ニ紋石有昔意宇郡焼島ニテ神軍ノ時カバ
リヲ焼納メソレヨリ御舟ニテ新庄村ウハ谷灘ノ舟著ヌ其舟即日
日御崎山ト成タルト云ヘリ此山ニ矢藁竹多アリ諸神舟ヨリ上リ
玉ヒ二十町山ノ上ニテ日暮スレバ諸神泊玉フ処ヲ倉稻越居ト云

明神ノ宮地ナリ

王子權現

建御名方命ヲ祭ル社四尺四方南向祭礼二月八月兩度ナリ

荒神五ヶ所

客神二ヶ所

水神五ヶ所

幸福菴

禪宗望湖山ト云本尊大日如來

松音寺

禪宗醫王山ト云本尊藥師如來定朝ノ作願主不動毘沙門也

地藏堂

阿弥陀堂

觀音堂

辻堂三ヶ所

古城山

城主ハ白石右京大夫ト云百五十年ハカリモ以前ニ落城ナリト云傳フ

レ氏誰人ノ攻落シタルト云「ハシレズ山ノ腰ニ間四方ノ深キ井アリ

山下ニ塚アリ首塚ト云

鍛冶床

小キ谷ナリ古老ノ云ルハ西塔辨慶此谷ニテ定恒ト云鍛冶太刀ヲウタ

セタリ三年三月ニウチシ「ヒタリト云サモ有タルニヤ今ニ此谷ニカナクツアリ

堤

細工峠ト云処ニ有大小三ツナリ土手ノ長サ七十五間

橋

五ヶ處有長サ四五間ハカリ

棕

古老傳云此木地土ノ塚ナリト云ハ凡不分明

木庄

熊野三所権現

伊弉諾尊速玉男命夏鮮男命ノ三神ナリ本社ニ間ニ三間南

向拜殿ニ間梁ニ五間祭礼正月十一日百手ノ神変トテ社司的

ヲ射ル儀式有七月十八日ハ御幸トテ本社ヨリ八丁ハカリ経テ海辺

ニ御旅所アリ御輿ヲ本社ノ前ニ立置司官大幣ヲ捧祝詞アリ

夫ヨリ氏子氏供奉ノ行列ナリ十八人者幣ヲ持十人ハノボリヲ

持ハカカノ警固トテ裸ニナリテ警固スルナリ紺屋ハタトテ竹ヲ

十文字ニユヒ布ニテマキ旗トナスナリ是ハ古來ヨリ紺屋ノ役ニテ

出スニハニ紺屋ハタトハ云ナリ競馬ヲハリテ御幸ナリ御旅所

ニテハ先潮ヲ汲テ祝詞神樂神変終テ御輿ヲ本社へ入奉

神前ニテ児童十八人花笠ヲ着テ神変ノ躍リ相撲アリ込村ヨリ

來集ル者多シ

川上明神

稲田姫ナリ本社一間二間半東向拜殿二間梁四間祭礼九月三日

面白明神

素盞烏尊ナリ社三尺四方南向祭禮九月二十七日

新八幡

社四尺五尺東向祭禮八月十五日ナリ古老云昔依々木新五郎ト

云武士ノ靈ヲ祭ルト云傳フレ凡何ノ時代イカナル故有テ此ニ祭ルト云フハ知ラス

天神社

社三尺四尺東向祭日不定

山玉權現

大物主命ナリ社四尺四方南向祭日定リナシ

水上登權現

伊弉册尊也社三尺四尺東向祭日不定

御崎森

三ヶ所アリ

荒神六ヶ所

地荒神十一ヶ所

水神十二ヶ所

津甕明神

川邊ト云処ニアリ

大道寺

真言宗本尊千手觀音照立廣目地因三社共慈覺大師ノ作
ナリ別弘法大師ノ自作ノ木像アリ

大日堂

真言宗海藏寺ト云本尊大日如來不動毘沙門ナリ

念佛堂

延命寺ト云本尊地藏菩薩

正泉寺

始禪宗ノ寺ナリシカイカナル故ニヤ山伏寺トナレリ

玉理寺

真言宗星降山ト云本尊千手觀音護摩堂本真正觀音慈覺

大師ノ作ナリ十五堂一字アリ

觀音堂

真言宗ナリ福田寺ト云

阿弥陀堂

真言宗福王寺ト云

觀音堂

真宗ナリ長福寺ト云

阿弥陀堂

地藏堂

嶋見堂

灘ヨリツキ出シタル地ナリ堂ニ間四方本尊大日如来脇立不動毘沙門ナリ此処ヨリ大根嶋見之故ニ嶋見堂ト云ナルベシ

大通寺梅

大通寺ノ境内ニアリ大ナル梅ノ子ナリ世俗大通寺梅ト云テ此所ノ名物ナリ

本庄町

南北百六間有町ノ中ホドヨリ西ノ方、横町四十間有漢人ニ是樓ノリ時節ニ隨テ漢ヲスルナリ夏ヨリ秋マデ海老ヲトルハ是ヲ本庄海老ト云テ名物ニ

石塔

細ユ峠ト云処ニ三ツアリ古老傳ニ云白鹿ノ城ニ籠リタル人々ノ墓也一ツハ高サ四尺ニウハニ尺五寸法号モ俗名モナケレハ委ニシク不知

立石

高サ三間マワリ十五間ホドアリ里老ノ云ルハ西塔ノ辨慶カ立石ナリト云此石ノ処ヨリ谷ノ尾ニ飛石ナリト云テ四ツアリ谷二三間ホドアリ石ノ間十五間ハカリ

塚

俚氏傳テ云古殿ノ塚ナリト云イカナル人ト云莫不知

本庄川

長サ五十町アリ川徑ノ三間

古城山

ニケ所岩ノ名知レズ城主年代共ニ知レズ一ツノ山上ニ井アリ

邑生

氷川明神

素盞為尊ナリノ本社五尺ニ六尺東向拜殿二間梁三間祭礼

九月十九日ニ

八幡宮

譽田天皇ナリ社三尺四方南向祭礼九月十九日

荒神ニケ處

水神

岡象女命ヲ祭ル榎ヲ神木トス

虚空藏堂

真言宗月光山ト云小菴有リ本尊安阿弥ノ作ナリ

清安寺

禪宗万年山ト云本尊釈迦如來脇立文殊普賢三尊尺奈良

康透ノ作ニ天文十三年依々木隱岐守閑基鎮守天神ナリ

古塚

玉殿塚トテ夫婦ノ塚有由來不知老松ニ株アリ

松
別所

十二所権現

伊弉册尊素盞烏尊事イサノミコノコト解男トキノヲ命速玉男ハヤタマノヲ命五男イハヒコノヲ三女ミメノヲヲ祭レリ

社五尺四方南向拜殿二間梁三間祭礼九月廿九日之天文廿三年建

立ノ棟札有勸請不知

荒神三ヶ所

水神二ヶ所

山王神社

枕木山ニ有大己貴命ヲ祭ル本社八尺四方南向拜殿二間梁三間

祭礼四月八日九月九日兩度之明曆二年太守源直政公御建立ナリ

藏玉権現

枕木山ニリ社三尺四方南向祭礼山王ト同日之明曆二年太守直政公

御建立ナリ

花藏寺

枕木山ニ有禪宗臨海派竜翔山ト云本尊釈迦如来惠心僧都ノ作

觀音ハ行基菩薩ノ刻彫之寺堂ト云傳テ玉石海松有竜宮ヨリ出現

ノ觀音ノ背ニ有テ多クナリト云ハリ

藥師堂

本尊藥師如来日天月天作不知梵天帝釈四天王十二神ハ皆運慶

ノ作ニ太守綱近公寄進ノ石燈籠ニ基有會式ハ四月八日之明曆元年

太守直政公ノ造堂也巨細縁起、見ヘタリ

枕木山仁王門

西金剛王運慶ノ作之堂内ニ葛巻石袋石有此堂門薬師堂ト同年ニ

直政公ノ御造堂ナリ

観音堂

本尊十一面観音ノ古老傳ニ曰何ノ時カ竜宮ヨリ此山ノ出現ノ尊像

ナリ太守直政公崇敬シ玉テ明暦三年造立ノ梵宇ナリ延宝六年天

火ニテ焼亡セリ其後前任桃室草堂ヲ結ヒ如意輪観音ヲ安置シタリ

今ノ本尊是ナリ

鐘樓堂

此堂ト山王ノ拜殿ハ観音堂同時ニ太守直政公ノ造堂ナリ

妙見

何比ヨリカ社破壊シテ尊躰今ハ醫王殿ノ内ニアリ

熊野権現

伊勢

此両宮今ハナシ

抑縁起ヲ見ルニ當山ノ関山智元上人ト云ハ美田ノ源太廣綱ナリ

故有テ隱岐ノ国ヘ放ヒテ後諸州ヲ浪ミシテ唐国ヘ渡リ飯朝ヒテ北国ヘ

エカントスル時船中俄ニ難風ニ逢ヒ黒雲天ヲ蔽ヒ行先キモ見ヘスナリヌワカ

ニ山ノ形ノ如ナルモノ見エ源太フカウ祈リテ去若斯山ニ佛神アラバ此舟ヲキシ

著ケ玉ヘモシサモアラハ我法心シテ香花ヲ奉ルヘシ佛神感應シ玉ハ必火
ヲ出シテ驗トナシ玉ヘト云俄ニ雲州加左ノ浦ニ火見ヘタリ源太弥信心ニ
テ是佛神ノナシ玉フ火ナラハサモアラバ火又見ユベシト云此時雨ノ洲先ニ火
見ヘタリ源太船中ノ人ニ言ケルハ是疑モナキ佛神ノ加護ナリ雨火ノ火
ハ船ヲ入ルベシト云テ則舟ハ加左ノ浦ニ著ケリ源太夜中岸ヲ越ヘ巖ヲ
傳ヘ木ノ根カワラニ取ツキ山ニ登リ漸ク山ノ頂ニ上レバ夜モ早アケカタニ山上
ニ池アリ今ノ薬師堂ノアル処ニ源太奇特ノ思ヒヲナシ暫クシテ一人ノ女
來レリ源太問ケルハ此山ニモシ佛神ニシテ棲ム人アリヤト云ケレバ女答
テ云ヨウ此処ハ昔ヨリ人ノ來ルコトナシ汝信心深キ故出現シタリト云次
一人ノ男來リ源太初ノ如問ケレハ二人同ク答ケルハ我々ハ此山ノ神ニ男

此池ニ棲ム女ハ別ノ池ニスナリ溪ニ薬師堂有我其上ニ居ル故ニ終佛
化ヲ得ズ汝此山上ニ薬師ノ尊像ヲ移シ奉レイカナル故ニ此ニ來ルヤト問フ
源太其ユヘテ語ル二人詔ヤリ薬師ハ弥勒岩ニ坐シ玉フ弥勒佛ハ
天上ニ登リ玉フナリ薬師ヲ此池ノ上ニ請奉ラハ然ラズ源太曰池ノ上ニ
如何ニテ堂ヲ建立スベキ二人曰此池ヲバ刹那ノ中ニ平地トナスベシト云
テ源太ヲ導キ行異人又云ヤウ一ノ白鳥ノモ飛去ニ隨ヒ行ヘシトテ遂ニ
岩ノ下ニ至リヌレバ三尊イマセリ中ニイマスハ薬師如來ナリ左ノ方ハ日天
右ノ方ハ月天也源太此三尊ヲモリ奉テ二人ノ者ト同ク彼池ノ邊ニ
イタリヌレバ俄ニ雨風雷電シテ山峰崩シ落テ池忽ニ平地トグナリケリ
其時ノ人ニケルハ此池ハ大王池又山ノ後ニ竜王池ト云アリ大王池ハ今平

地トナリタリ竜王池ハ永ク後ノ世ニ傳テ我々二人カシルシトナサシイカナル
早魃ナリ凡雨ヲ祈ラバ感應アルベシ是我々が靈異ナリトシテ二人ハ終ニ
トヒタリ又其跡今ニアリテ蛇鳴ト云リ彼異人ハ夫婦ナリト云傳源太
業師如來ヲ安置シテ思フニ如來ノ左リノ膝折レテ有ケルバ安坐ヲ
ナサレメ奉ルハカナワズ左右ヲ見メグレ凡用ニベキモノサラナシ此ニ源太
幼キ時ヨリ枕一ツ秘藏シテ老ク今ニ至ルニテ身ヲ放タサリシヲ出シテ薬師ノ
膝ニシテ安置シ奉リ又此枕化シテ膝トナレリ故ニ朽木山トハ号スルナリ
源太先レキミ櫛オカキヲ建テニ尊ヲ安置シ靈堂ヲイトナシトハカリシニ白鳥
飛來口ハナワラフヲミ足ハ茅カヤヲ採テ源太が前ニヲキ心アリゲニゾ見ヘ
タリコニヲヒテ假ニ草堂ヲ立テ源太ハ嶽山ニイタリテ前ノ支トモコガニ傳

教大師ニ語り法ハサカシクテ請ヒケレバ傳教其志ノ深キコトヲ感ジテ
智え上人ノ号ヲ授テ一山ノ開基トシテ源太諸国ヲ勸進シテ終ニ大伽
藍ヲ建立セリ源太が妻便ヲ求テ文ヲラリ早ク隱岐ノ国ニ歸リ玉ヘト
頻ニス、メヤリケルニ源太靈佛ニアヒ法ハツ祭シテ今ヨリ長ク愛慈煩悩
ヲ絶ナリト云ツカワシケリ妻猶二人ノ子供ヲ携ヘ尋來テ岩前ニ至リ
ヌレハ大蛇アリテ踏ニフシ経水ニウカニ至リ又妻山山ノ神靈女人ヲ禁ジ
玉フコトヲサトルトイヘ凡此ヨリ空ヲ飯ランモ本意ナケレバイカシテ是ニテ來リシ
信ヲアラワサシト思ヒワツラヒケルガ此物ヲ源太が見タランニ爰ニ來コトヲ知ル
ヘシトテ携ヘシ葛ツツ籠カゴト布ノ袋ヲ残シタリ此葛籠布袋石トナリテ今ニ
至テツラ石フクロ石トテ仁王門ニアルハ是ナリ夫ヨリ源太が妻子ハ嶽山ニ

登り且又、枕木山ヲ望テ終ニラワリヌ俚俗傳テ云、嶽山ノ三社権現
ト云ハ源太ガ妻子ヲ祭ルナリ今ニ至リテ枕木山四月八日祭礼ラワリテ
嶽三社権現ヲ望ミ祀ナリトカヤ上人菴堂ヲ結テ終ニ在生ラトゲ
ナリ自是天台ノ僧此山ニ居シリ四百余年以前靈堂頽破ニ及ベ
此時天子類癩ノ御病アリ醫療祈禱サラ、其驗ナカリシ、藥師
如來客僧トナリ禁裏ニ至リテ謂曰、今天子ノ病醫藥ノ功モ及ビ
カタク祈ルトモシルシナカラシ、若出雲國嶋根郡枕木山杉井ノ水ヲ汲
テ御藥ヲ煎ジ奉リ玉體ヲモ洗ヒ玉ハ、御病イユベシトテ去リヌ、公御奏聞
アリケレバ即詔有テ彼僧ヲ尋問ニ其行方モシルセバ、勅使ヲツカワサレ
タリ、勅使出雲ノ國枕保村ニイタリ、此水ヲ問フ、知人ノナカリケレバ
枕木山ニ登リ是ヲ尋シ、七圍アリノ杉ノ下ニ清水ノ出ル処アリ、今ノ
藥師堂ノ側ニアル清水ナリ、勅使此水ヲ汲テ、客僧ノモシハ、トノ御藥
ヲ前テ奉リ玉體ヲモ洗ヒ玉ハ、御病本ノ如クイヘ玉ヘリ、是ヨリ天子元朝ノ
御浴水ニハ、此水ヲ用ヒ玉フトニ、此奇特ニヨリテ天子靈堂ヲ御建立アリシ
トナシ、此山ニ僧房千宇アリ、佛道寺澄水寺ニモ房舎千宇アリ、毎年
枕木山ヨリ清水ヲ天子ヘ獻ジケル、佛道寺澄水寺ヨリモ亦、水ヲ獻シ
テリ、故勅シテ今ヨリ早ク來レルヲ賞シ玉ハ、トアリケレバ、枕木山ノ僧
徒、此水ハ元ヨリ我山ニアリ、他ヨリ酌ム水ニアラズト云、西寺ノ僧徒ハ天子
早ク來レルヲ賞シ玉リトノ勅ナレバ、他ヨリクムニシキニアラズトテ、遂ニ鬭争ニ
ツヨクテ、佛道寺澄水寺ノ僧徒ト枕木山ノ僧徒ト相争テ互ニ傷キ

又ハ死スル者多カリケレハ天子関召シテ天台宗ノ闘争ヲ好ム僧ナレバ今ヨリ
禪宗ニスベシトテ東福寺ノ住侶聖一圓尔ノ法弟佛智禪師ヲ此山ニテ
シメタリ時、山巖ニ天狗アリ鐘樓ニ登リテ鐘ツク人ヲツカシテ虚空ニ
走り或ハ提テ大木ノ梢ニカケナシテケリ禪師コレヲ愁テ自ラ樓ニ登テ
鐘ヲツク天狗来テツカシトスルヲ禪師拂子ヲ取テ打ヌラシテ縛リヌレバ
天狗ノミ我ハ此山ノ主也カクナシモフナト云禪師イカリテ汝何ノ故ニカク
人ニ仇ヲナスヤトアレバ天狗答テ云然ラバ今ヨリ後ハ此山ノ八歩ヨリ上へ、
ノホルミシ免シ玉ヘトナリ禪師繩ヲトキケレバ天狗ハ隱岐ノ国ニ飛ナリヌ
或時俚民ノ夢ニ天狗来テ我ヲ祭ラズンバ寇ヲナシト云上人畏テ祭ラヌ
是ヨリ毎年二月十七日坐祝彼天狗ヲ祭ルトシ昔後鳥羽院隱岐國

ニテ獵シ玉ワシトテ海一夜中ニ波風起リテ御船已ニ危カリシ、俄ニ火
ノ見ヘタリ院舟長ヲ詔シ玉ヒテ火ヲマコサシ御舟ヲヤリヌ其時御制衣ノ
和歌

灘ナラバモシホヤヲヤトヲモフベシ何ツタクモノ煙ナルラン

ト有テ御舟ハ遂ニキニツキヌ時二人ノ老翁来リテ是ハ隱岐ノ国ナリ先ニ
御舟ノ中ニ詠シ給フ御制衣怨アレヒ難シ奉ラシヤト云ケレバ院大ニ敬感ア
リテ翁ノ名ヲ問ヒ玉フ翁ノ曰我ハ偏ニ御舟ヲ守護セシガクメニ來レリト云テ
乍見ヘズ是ニヨリテ祭テ焼火権現トナス今ニイタリテ舟人トモイツコノ
海上ニテモ波風ノアラキニ逢ヒ行先ヲ失フ時ハ火ヲ宅ニ一ツト乞ヘバ一ツ見ヘ
ニツト乞ヘバニツ見ユルニツノ火ノ間ヘ舟ヲヤシバ岩角ノ志シモノナシト云ヘリ

是ヨリ枕木山ノ神隱岐ノ国へ行キフトニリ今ニ此山上ニ焼火権現ヲ
遙拜スル処アリ是故ニ隱岐ノ土人此山ヲ崇敬ス昔日足利氏表へ
諸国乱シテ雲州ハ尼子ノ手入タリトイヘ凡ノ軍ヤマス枕木山モ
回祿シテ舊記録起モ燒亡タリ国君少将直政公ノ御嫡子綱隆公儒
臣依々木道慶ニウセアリテ縁起ヲ作ラシメテ今ナリ或人ニモヘルハ燒火権現ハ
海上ノ難ヲ救ヒ多クノミテアラス疮瘡ノ病ヲ守リモフトニヘリ燒火山ノ上ニ言フ錢ヲ入ル
大ナル瓶アリ此中ノ錢ヲ取テ二錢ヲ返シ入ナリ此ノ取ル錢ヲ守トスレバ疮瘡
ヲノガル人モ有又ハ輕クスル人モアリトナシ此錢ヲ入タル物ヲ船ニワメバ心
ナク其処へ到ルトニリ舟ニ醉タル者此錢ヲ水ニ入テ其水ヲ飲バカ
ナラズ快クナレルトナシ其驗アリタルヲ親シク見タリトカタル人多シ

辻堂五ヶ所

加賀川 加賀浦アリ

風土記ニ小倉山ノ北ニ流テ大海ニ入ルトアリ此川ヲ云

八幡宮

神功皇后嘗田天皇玉依姬ヲ祭ル本社六尺ニテ尺南向拜殿二間

梁三間祭礼八月十五日ナリ勸請年代不知天文十一年ノ棟札アリ

荒神ニヶ所

水神ニヶ所

観音堂

地藏堂

辨慶嶋

陸ヨリ五十間ガリ沖ニ有リ古老傳ヘテ昔シ武藏坊辨慶幼キ時悪
黨ノ生シツキタルニ依リ此島ヘ放テヤリケリサレ氏辨慶ヨ尋常ノミ里ニアラ
ホレバ袂ニ小石ヲ入運ビテ陸ヘ道ヲ作り遂ニ人里ニカヘリ又嶋ヨリ陸ヘ小
石ノ道筋今ニコリテアリ是故俚民辨慶島ト云ナリ此島ニ辨慶ニ
親ノ為ニ立タル石塔アリ六地藏ヲ彫付タリ陸ノ道廿五間ガリノ切所有
是ハ飛渡リタルト云フ

荒神

古老ノイフ昔當村ト別所村ト一郷ナリシ時ニ竹山スロ床ト云処ハ山城
国ウチ郡川島村ノ邊ヨリ窄人來テ居住ス子孫繁昌シテイカナル
故ニヤ此荒神ヲ祭リ其後別所野原ト両村分レ氏今ニ到テ祭ハ絶
タルニ同処ニ稻荷ア社跡トテ木林アリ

長海

杵田大明神

瓊々杵尊ヲ祭ル本社一間半ニ間南向拜殿二間梁ニ四間祭礼
九月十九日七座ノ神夏有小児四人花笠ヲ着テ笛太鼓ヲ躍ル規
式ナリ古老傳ニ源氏経ノ家臣武藏坊辨慶ガ産神也辨慶願書
ナリトテ有ルヲ見ルニ辨慶九歳ノ時迄ハ母ト一所ニ居タリシガ村ノ者共ニ
惡ニシ海中ノ島ニステラレ音信モナカリケレ氏露露雪ノ苦ミヲ身モ受ズ

或時氷ヲ破リアナタコナタトスミアリキシニイツ氏知ズ山伏來テ云
ケルハ汝デ此島ニ獨棲ム一ノ哀レサヨイザムサシト云モノツサレテ遊ントテ
ムサレノ圖ヲ石ニキリ付テサシタリト云フ思フニ今ノ世ニ小兒ノ戯ニムサレサス
ト云ハ武藏坊ガサシタレ故ニ此戯ヲムサシト云ナラン彼山伏語りケルハ我ハ是
汝ガ父ノ天狗ナリ陸ニ渡ス一ハ安ケレ氏末世ノ人ニ見懲シメン為ナリ是リ
西ノ西ニ道ヲ作レトミテ空中ニ飯リヌ十歳ノ時袖ヤ裳ニ沙ヲ入テ道ヲ
作ル竜神モアワレシ給ニヤ南北ノ波ユリタツト至沙モ山崩レズ程ナク道
ヲ作テ渡リ枕木山長水寺鯉網寺此三ノ山ヲ廻テ學文ヲナス十五歳ニ
ナリ長海新庄小谷村ノ成相鍛冶ニ鐵一駄片荷ニテ長カヲアツラ
ヘ三年三月ニウチタリ千日ニ出來ル鍛冶ナレバカ子ノ心ヲ知ル為ニ金床ヲ切ルシウモ
タマラズ切レタリカクノコトクノ鍛冶ヲ置ナラバ又加様ノ太カノウツベシト思ヒ
遂ニ鍛冶ヲ斬リ殺シヌサテ修行ヲセト思フ処ニ母病ヲウケテ最期迄成シ
時我ヲ呼テケルハ汝ヨク聞ケ母ハ紀伊国田那部ノ誕家ガ子ナリ彼
ノ誕家子ナキニヨツテ熊野権現ニ祈リ我ヲモフケタリ太治三年戊申
五月十五日ニ生シ辨吉ト名ツケヌ我客セニスグレ醜キニヨリテ年二十ニ
ナレバ夫ナシ父母是ヲカナシテ出雲国結ブノ神ニ祈誓シ參詣ツテ
シム久安三年丁卯六月朔日ニ生國ヲ出ツ其時父母ノマヘルハ汝夫ナラテ
其國へ飯ルベカラズト有夫ヨリ出雲ノ國ニ來リ結ブノ神へ參詣シテ七日
七夜通夜シタリ七日ニ満ル夜ノ夢ニ汝ニ結ノ夫ナシ其故ハ汝ガ父ハ殺生
強盜ラナシ母ハ又垢穢不淨ノ身ヲ嫌ハズ権現へ參詣シ叶ハル子ヲ願フニ

ヨリ容テ醜ク生レタリサレハ遠ニ参詣シケル縁ニ縁ヲ結テ得サセ鳴根郡
柘木山ノ麓ニ長海村ト云所アリ其処ニ行セテ七年棲ナラバ夫ヲ得サセント有ケル
ヨリ教ニ任セ長海村ニ行テ三年棲ケレハ父母ノヲトツレモナク春ニ野ニ出テ
薇ヲ折リ秋ハ折田ノ落穂ヲ拾ヒ露ノ命ヲツナギケル暮春ニ山ニ入テ薇ヲ
折シ時歳ノ比二十年斗ノ山伏身ヲ糝ニ飾リ來テ歌ニ

我ハ是出雲ノ神ノ結ニテ汝ヲツマト定リゾスル

我返歌ニ

ウツタカキ身ヲカザリタル山伏ノワラワラ妻トアルハソラゴト

其時誠ニ思ヒ當タリ結ノ神ノ御教ノ夫ヲメト歡ビ思フニ彼山伏桃ノ
花ヲ一枝タマワリ百世ノ契リゴトニテ空中ニ飯リヌサレバ程ナク懐胎シテ
ツワリニ鐵ヲ好ミ鐵ヲ隠シ取テ九具食ヒヌ十具ノ時里ノ童ニ見アラ
ワサレ半分食ヒ残ス是ヨリテ是汝常ノ人ニチガヒナニテ月ニテ仁平元年
辛未三月三日ニ髮長生ニ齒ハ二重ニハテ生レヌ左ノ肩ニハ摩利支天右
ノ肩ニハ大天狗ト文字有面ノ色黒クシテ惣ノ身ハ鐵ナリサレハ鐵ヲ少シ
食ヒ残シタルニ只呪四寸四方バカリ人間ノ膚ナリ即產湯ヲカントシタリ
ケルガ實ニ汝ハ人間ノ子ニカワリタレバ常ノ水ニテハ叶ハジト思ヒ自ラ手ニテ
井ヲホリ水ヲ汲テ產湯トセリ懐胎ノ時多クノ鐵ヲ食ヒタルヨリ其思ヲ
報セン為ニ手ニテ井ヲ掘ヌナリ末ノ世ニテモ此井ニ鐵ヲ入ベカラズ我
汝ヲ生テ歡ノ余リ名ヲ辨慶トハ付タリ又汝ヲ島ニ放テヤリレハ村ノ者
トモヲ惡マシシニ依テ今成ニスルノウレシサヨ我菩提ヲ志ハ紀伊國ニ

ユキ誕生一門ヲ尋ヨ汝が父ハ天狗ナレバ氏モ系因モシレズ武士ナラバ
田那邊ト名乗リ法師トナラバ武藏坊ト名付ベトモテ仁安二年丁亥
五月十五日ニ死スリ辨慶母ノ遺言ニマセ記伊ノ国ヲ尋諸国ヲ修行
モト思ヒクツテ先氏神杵田明神ニ参詣シ抑當社明神ハ地神三代ノ
神天彦々火瓊々杵尊ニテ国土ヲ守リ衆民ノ惠ニ此御笠山ニ跡
ヲ留シ玉ヒヨリ以來今に至リテ神光四方ニカヤキタリ我父ハ天狗ナリト
イハレ母ハ誕生ガ女権現ノ分身トモモシク然ラバ我天下ニ甲ケルノ高名ヲ
授玉ト深ク誓願ヲナシ仁安三年戊子三月上旬ニ社ヲ建立シ伏拜ヲナシ
此国ヲ出ミケリ此一通雲州嶋根郡松木ノ保内長海村杵田明神
之社中ニ書置者也ト真書アリ本書ハ永祿五年毛利元就所望シ

玉ヒ字ヲ社内ニ竈ラシ今ニアリ辞イヤシクアヤシキ事ノミ記ス是社司ノ云
傳故記ス

新宮神社

速玉男命ナリ社二尺四方南向祭祀九月十九日ナリ

荒神

榎ノ神木トシテ素盞島尊ヲ祭ル祭日九月廿八日

水神

土人ノ屋敷ノ中ニアリ松ヲ神木トス岡象女命ヲ祭ル祭日九月廿八日
古老傳云此水神ヲ辨慶森トモヘリ森ノ中ニ小キ井アリ今到テ
水絶ルナレ西塔武藏坊辨慶生レタリニ時是水ヲ盥手洗トナスト

ヨリ杵田明神ハ辨慶ガ産神ノ社ナル故、辨慶ガ願書シトテ今、
社内ニ篋ヲ有其詞、辨慶ガ母鐵ヲ食シテ誕生シタル子ナレバ尋常ノ
子ニアラズトテ手ニテ井ヲ堀リテ産湯トセリ其井ニ鐵ヲ入ルヲナカレト書スハ
此井ノノナリ今モ井ノ内へ鐵ノ道具ヲ入レハ其マ、キヘラレルトイヘリ此
水ニテ瘡落ルト云傍、辨慶ガ母ノ墓アリ

海藏寺

禪宗臨濟派ナリ清音山ト云本尊地藏菩薩弘法ノ作ナリ

藥師堂

觀音堂

毘沙門堂

地藏堂

長見川

風土記、見ヘタリ小倉山ヨリ流出テ東ノ方杵田社前ニ至テ大鳥川ト
合流シテ海ニ入ル

手角

風土記ニ載スル手深ノ郷是ナリ多須見長見野原別所宇部尾
村ヲ以テ手深ノ郷トス

春日大明神

武甕槌命、兒屋根命、齊主命、比咩太神ヲ祭リ本社四尺ニ五尺

南向拜殿二間梁三間祭日九月十五日ナリ勸請年代不知元
和五年建立棟札有

辨財天

倉稻魂神社二尺五寸三尺元和五年ノ棟札有祭礼春日社同日ナリ

荒神

松ヲ神木トス祭礼十一月廿一日

荒神ニテ所

客明神

倉稻魂命ヲ祭ル

象田寺

禪宗臨濟派雲黄山ト云本尊如意輪觀音ナリ

藥師堂

阿弥陀堂

堤ニテ所

石橋ニテ處

森山

美保明神

横田明神

風土記横田社アリ是ナルベシ本社一間半四方南向拜殿二間梁四

八
八
間隨神門有祭礼三月三日十月初午ノ日天正十年ノ造立棟札有
何人勸請スルモ不知

八幡宮

譽田天皇ヲ祭ル社三尺四方南向祭日八月十五日

新宮権現

速玉男命ニ社三尺四方西向祭日九月九日

手嶋明神

少彦名命社二尺四方西向祭礼九月九日

荒神ニケ所

水神ニケ所

客明神

惠美酒社

御崎森

萬福寺

禪宗ナリ建拙山ト云本尊阿弥陀如來ニ此寺ハ秋場伊織ト云人ノ

開基ト云

阿弥陀堂

地藏堂

古城山

城主秋場伊織秋場小川右衛門ト云傳フ

鯢島

此嶋ノ鯢通レバ必ハセ上ルト云近來モ鯢ハセ上リ

福浦

美保西社明神

美保津姫ト事代主命ニ西社氏ニ五尺四方南向拜殿二間梁三間
祭礼九月十九日ニ元和十年ノ棟札有又是ヨリ以前ノ棟札トラホシクテ
古キ棟札アレハ文字見ヘス年号モシレ子バ何ノ時代爰ニ祭ルト云一モ
知カズシ此浦ヨリ海上一町斗リ沖西ノ方ニ當テ一ノ嶋有長十間横三間
ホド有里人是ヲ鯢島ト云古ハ此海上ノ鯢集當社ノ年頭ノ礼ヲナシタリ

ト云其時一ツノ鯢凝^{ヨリ}固^{カスリ}テ島トナレリ是故ニ鯢島ト名付タリナシト云
飛島明神

少考名ニ社ニ尺四方南向祭礼九月十九日ニ按スルニ少考名命ハ築紫
ヨリ栗ガラニハダカレテ此国ヘ來リ給フト云ナレバ飛嶋明神ト云モイワレナキ
ニハアラス

荒神

源正寺

浄土宗松竜山ト云本尊阿弥陀如來春日ノ作ニ信譽上人ノ開基ニ
ト云傳フレ氏年代不知

阿弥陀堂

鯨嶋

美保両社ノ記一見ヘナリ

三保關

風土記曰御穂須々美命生玉ノ此神坐ス故ニ美保ト云昔後鳥羽院隱列遷島ノ時此浦ニテ

思ヒヤシ憂身ヲ三保ノ浦風ニ注々絞ル袖ノ西下ヲ

美保神社

三保津姫事代主神ノ鎮座也風土記ニ事代主ノ子御穂須々美命坐ス故美保ト号ス又云高皇產靈命ノ子三保津姫ハ大己貴命

娶玉ヲ三保明神是ナリト云ケリ日本紀曰大己貴ノ御子事代主神三保ノ崎ニ在ス釣魚ヲ以樂トス八雲ノ御抄ニ出雲ニホリ崎事代主神釣シケル処トアリ神祇官第八坐ノ神者事代主神ナリ四事紀古事記神皇正統紀神代紀延靖紀安寧紀此諸書ニ載ルル日本紀風土記ハ上古ノ遺書歷代ノ通鑑然ル寸ハ神ノ茲ニ廟食スルノ尚シ由來縁起ニ詳ニ故ニ畧シ又文祿五年吉川廣家造管天正年中兵燹ノ為ニ災上シテ神室悉焼亡ス祭祀三月三日小舟三艘ヲ組合セ四方ニ神ヲ立幕ヲ張田樂舞有十一月午日明神ノ諸手舟トテ氏人十二人烏帽子直衣ヲ著テ舟乗湊ノ中ヲ三度マワル規式ナリ

客明神

午頭天王

地主社

辨才天

天神

荒神

今宮

佛谷寺

浄土宗竜海山ト云本尊阿弥陀如來弘法大師ノ作ナリ此寺家ニ

古三明院ト云有ケリ此ノ者トモ是ヲ如藍ト云傳ヘタリサモ有ニヤ

今ニ堂ノ内ニ七軀ノ佛像有弥陀釈迦東方ノ四尊トテ四軀毘沙門

スベテ七佛ナリイヅレモ聖徳太子ノ刻彫ナリ此寺昔ハ七堂伽藍ノ回廊ニ

ト云傳フレ天正以前無住ノ時縁起モ古キカチモノモ皆散リ失ヌ後鳥

羽院隱岐ノ国ハ遷幸ノ時暫ク寺中ニ皇居ヲ定メラレタリトカヤ此交

ハ今ニ古老ハ聞傳テ知ス人モアリ閑基ハ聖徳太子也ト先住書記ニ

置タリユハルベシ天正年中順慶ト云僧中興閑山ニ氏云寺室ニ九

條ノ架設アリ太守源吉透公ノ母堂養法院殿ノ寄進ナリ

神宮寺

天台宗ノ巖松山ト云本尊十一面觀音毘沙門天ナリ天正年中

ノ兵乱ニ記録縁記皆ヤケ失セケレハ閑基閑山ノ僧モシレズ寺中ニ

御手洗ノ池ト云有天真兵記ノ時教運法印三保明神尊躰ヲ此御
手洗ノ池ニ納奉リ大難ヲ逃レモフ其後假殿ニ遷シ奉リ文祿五年
改元有テ慶長元年ナリ吉川廣家造營ノ棟札有又ツ鐘アリ天
正八年教運法師鑄ルト銘ニ彫タリ天正以前ノ一ハ記録縁起モナリ
古老ノ云傳モ今ハ知タル人モナシカレ上古ニハ雪津福浦森山下宇
部尾諸喰七類是ヲ三保六郷トテ皆神領ナリトカヤ此六郷今ニ
至テ難接マスト云神領ノシルシ是ナリ

圓淨坊

真宗ナリ本尊阿彌陀如來此寺ハ寛永ノ比當浦ニ納^ナ屋喜兵衛ト
云者ノ建立タリシ天台宗ノ寺ナリシガ無住ニナリテ頽破シタリケルヲイフ
比カ松江ノ人糸真宗ナリケレバ上ハ訶ハ真宗ノ菴トハ成リ

宝壽寺

禪宗講緣山ト云本尊阿彌陀如來小堂一字有本尊藥師如來
行基ノ作ナリ

地藏崎

三保岡ヨリ十町バカリ東北ノ方ハ出スル山ノ鼻ナリ古此所ニ地藏有廻船
此ノ崎ヲ見テ當浦ハ舟ヲ入ルナリ就中階岐国ヨリ雪割ハ渡ル舟ハ此ナラ
目當ニ入津スナリ世俗地藏ガハナト云

嶋神

北ノ方一里バカリ沖ニ有リ

輕尾浦

三保瀨ヨリ十町ガナリ北ニ有ルニ大菟竹多シ

雲津

諏訪明神

二社有建御名方命ト云代主尊ト云祭ル而社尺四尺四方南向拜
殿二間梁四間祭礼九月廿日天文五年ノ棟札有リ

正勝明神

正哉吾勝ノ神ニ社三尺四方南向祭礼九月廿日

寄江明神

社二尺四方南向祭礼九月廿日老傳云何ノ比カ此神海中ヨリ流レ
寄玉ヲラ此処ニ祭ル故ニ寄江明神ト号スルニ何ノ神ト云テハ知ラズ

辨才天

倉稻^{ウカシ}鬼^ニ命^ノニ社二尺四方南向祭礼九月廿日

荒神

水神

覺源寺

浄土宗海濱山ト云本尊阿彌陀如來南基開山不知天文廿二丑ノ三月

ト有

浄土菴

卷号不知

薬師堂

地藏堂

湊

東西二百間アマリ南北百五十間ハカリ

麻多幾利嶋

湊ノロヨリ西ニ有嶋ノ口ニ岩穴有高サ二間横一間入二間ハカリ古
老傳ニ昔隱品ヨリ生食ト云名馬此浦ノ渡リ此穴ノ中ニ入トミリ
彼馬己シガ姿ヲ嶋ニ移シタリト云テ今ニ其姿穴ノ奥ニアリ

岩屋城

蜘蛛ノ岩尾ト云ナリ古老傳ニ對馬守源義親隱岐ノ国ヘ流サレ隱
刈ヲウラナヒテ出雲国ノ渡リ蜘蛛ノ岩屋ヲ城トシテ楮龜惡堂
シカタラヒ国ヲ乱サントスルニ依リ平正盛ヲ討手ニサシ向ケ給フ正盛此
時伯刈大山ノ祈願シテ願書ヲ龜ヲレタリ其時ノ願書今ニ竹中坊ニ
アリト云リ岩屋ガ城入口三間四方形ナル平石ヲ左右ノカニ立上ニモ同シ
ヤウナル大石ヲ覆ヒカブセテ龜タリト云今ハ木茅シケリテ入口モ見ヘカシ
或時村里ノ者口トホシキ所ニテ火ヲ燒ケルニ其煙十五間ハカリ先ヨリ
出タリ據ニ王代一覽ニ堀河院嘉永二年出雲国ノ流人源義親
惡逆ヤマス謀殺ノ崗ヘアルニ依テ平正盛ヲ遣シ義親ヲ伐シト有又
鳥羽院大仁元年正月平正盛出雲国ニテ源義親ト戦テ義親ヲ

討取アリトアルハ此支ナリ

諸漁浦

奢母智神

天久比奢母智ノ神之本社四尺四方南向拜殿二間梁三間祭
礼九月十九日天正六年造立ノ棟札有リ

多賀波明神

奢母智明神ノ境内ニ有社二尺五寸四方南向祭日九月十九日ナリ

荒神

山神

水神

明音寺

浄土宗喰秋山ト云本尊阿弥陀如来

高場嶋

當浦西ノ方三町ガリ沖ニ有長十五間横十二間高六丈ハカリモアラシ
此島ニ元ハ高場三社明神ノ社有テ毎年三月三日ハ浦人ハ参詣シテ
神酒ノ備ヘケレモ海上ナレバ波風アラキ時参詣モナラサルニ依テ貞享子
年奢母智ノ境内ハ遷シヌ

七類浦

美保明神

美保津姬命ナリ本社四尺ニ五尺南向拜殿二間梁三間祭禮

三月三日十一月初午ニ文祿五年ノ棟札アレトモ勸請年代不知

国吉明神

天児屋根命也社四尺四方南向祭礼三月三日十一月初午ノ日ナリ

荒神

岩明神

嶋松ト云木ヲ神木トナシ倉稻魂命ヲ祭ル九月廿八日ヲ神莫ノ日トス

惠美酒

蛭子尊ナリ松ヲ神木トス祭礼三月三日

常樂寺

禪宗金堂山ト云本尊釈迦如來境内小堂一字有本尊六日

如來脇立不動毘沙門

地藏堂

塩濱

堤

片江浦

風土記ニ方結ノ郷有今俗片江ト書ス此浦ニ僧津玉社ニ所有

藏玉権現

勝手明神

二神相殿之藏王権現ハ安閑天皇勝手明神ハ愛髪命ヲ祭ル本社
五尺六尺南向拜殿一間梁四間祭礼正月元日三月初午日也
天正十八年建立棟札アリ此勅請年曆不知

宇塚明神

社四尺四方南向祭日正月元日之風土記方結社有伊比都加大神
シテ国忍別命ヲ祭ト云

大山明神

祠四尺四方南向祭礼正月元日ナリ

田前明神

社五尺四方南向祭日大山明神ト同日也風土記載云玉結社是也

荒神

濱ヨリ七間斗沖ノ嶋有松木ヲ神木トシテ素盞烏尊ヲ祭ル祭礼

田前ト同日也

水神

長壽寺

禅宗合海山ト云本尊十一面観音也秘佛ノカハ毘沙門有

薬師堂

阿弥陀堂

地藏堂

殿嶋

苔嶋ノ十間ニ十間斗昔寺本門前之助ト云浪人ニ此島ヲ拾リタリ
ト云傳テ今ニ至テ寺本ノ子孫有冬ノ正月十五日迄ハ苔ヲツムハ十六日ヨリ
浦中ノ者ニ掃ト云ヘリ

塩濱

堤三ツ所

北浦

稲倉明神

倉稲鬼ノ命ニ本社一間四方西向拜殿二間梁ニ三間祭礼十月十八日
七座ノ神夏ナリ天正五年ト記ス棟札アレモ勧請不知

国吉明神

天見屋根尊ニ社四尺四方南向祭日十月八日永祿十一年建立ノ棟札有

魔漆明神

社四尺四方南向祭礼十月十八日ノ風土記ニ載ス伊奈^{イナ}阿氣^{アケ}ノ社ナルカ

荒神

客明神

櫻ノ神木トシテ倉稲魂神ヲ祭ル祭礼正月初午ノ日百手ノ神夏アリ
伊奈久良明神

風土記ニ載スル伊奈都美社は是レ此処ヲ伊奈都美浦ト云

北禪寺

禪宗汲源山ト云本尊釈迦如來安阿弥ノ作ナリ

大日堂

阿弥陀堂

忠山古城

城主年代不知古老傳云此山ヨリ北ノ麓ニ善常寺ト云寺跡有其傍

ニ城主ノ塚ナリトテ今ナリ其名知人ナシ

魔那枯山

此山魔法明神ノ社ノ後ニ有始此明神ノ祠巔ニアリト云海上ヲ通フ船

シトガメ玉ヘリ或時九洲ノ舟通リト云難風ニ逢テ此神ニ祈願シ後ニ九洲ヨリ

舟ニ土ヲ積來リ今ノ宮地ニ社ヲ建立シタリト云傳西塔ノ辨慶カ是ノ山

毎日薇^{ワヅ}ヲ取ニ來レリ

稲積島

風土記ニ見ヘタリ稲倉明神坐ス嶋ナリ

大嶋

俚俗穴深ト云巖窟有リ

塩濱

堤

菅浦

神畑明神

猿田彦命ナリ社四尺四方南向祭礼十月十八日之天正五年造立ノ棟
札有北浦稲倉明神モ同年造立ノ棟札有此社ハ稲倉ノ末社ナレバ同時
代ノ勸請建立ナルベシ

新宮

社五尺四方西向祭日十月十八日ナリ

現禪院

禪宗萬竹山ト云本尊釈迦如來安阿弥ノ作ナリ

阿弥陀堂

木嶋

海上十町斗リ沖ニ有古老傳云昔神畑明神此島ノ上リ玉フトニ嶋嶋

鳥嶋黒島ナント云嶋々アリ

塩濱

堤

千酌浦

伊佐奈^{イサナ}杵^キ命ノ御子都久豆美^{ツクヅミ}命此処ニ坐ス然レバ都久豆美^{ツクヅミ}トコソ
云ベキ今ノ人猶千酌ト記セリ

三社明神

伊弉諾命伊弉冉命都久豆美命三神ヲ祭ル本社一間ニ間東
向拜殿二間梁ニ五間隨神門アリ祭礼正月元旦ニ御供七十五膳ヲ

調へテ諡初トミコトアリ神歌ヲ唱へ五穀豊饒ヲ祈神夏田植ノ規シキ
アリ四月三日御供ヲ調テ七十五膳ヲ備フ一ノ神子ニノ神子トテ女重ニ人
ヲ馬ニ乗セテ品々規式アリ神子糝臙脂白粉帶扇子紙ヤウノ物ハ
古ヨリ時ノ代官出來リテ今ニカワラズトモヘリ此浦ノ海上五町ハカリ沖ニテ
三ノ嶋アリ昔神達惡魔ヲ退治シ玉ノ時鬼ノ黒頭嶋シタ嶋トミナリ
又磔也平ナル島アリ東西五拾間ハカリ南北百間ホトモ有ヘシタミ
ヲシキルガ如シ今俚民千量嶋ト云傳レドモイカナル故アリ凡知人ナシ
天正元年本社上蓋ノ棟札アリ書キ載スルヲモナシ神宝ト稱シテ弓
太刀三振鏡三領アリ誰人ノ筆置スルモ不知

山王神社

大己貴命ナリ社五尺ニ六尺東向

日御崎神社

天照太神ナリ社五尺ニ四尺東向

加茂神社

玉依姬也社三尺四方東向

新宮神社

速玉男命ヲ祭ル社三尺四方東向

惣御前社

出雲諸神ヲ祭社五尺ニ六尺東向右ノ五社ハ三社明神ノ攝社ナリ

氏賀神社

天忍日命ヲ祭ル社三尺四方南向祭日四月三日ナリ

松尾神社

大山咋命ヲ祭社三尺四方氏賀神ト同日ノ祭礼ナリ

荒神ニテ所

水神ニテ所

辨財天

海上十間ハカリ沖ノ島ナリ倉稻魂神ヲ祭ル社一尺二尺南向祭日

九月九日也

蓮花寺

禪宗金養山ト云本尊十一面觀音

阿弥陀堂

大般若堂

地藏堂

薬師堂

首塚

三社明神ノ北ノ方ニ鬼首千納置ト云テ世俗首塚ト号ス神代ニ鬼

ト神軍有ニ時ノ塚ナリト云ト云傳フ

千疊嶋

三社明神ノ記ニ詳ナリ

築嶋

海上二十間ハカリ沖アリ辨才天ヲ勸請ス

笠浦

日御崎

八幡宮

日御崎ハ大日ツルヒノミコ靈貴素盞烏五男三女ナリ八幡宮ハ應神天皇神功
皇后玉依姬ナリ西社共ニ五尺四方南向祭礼九月九日ナリ天文二年
造立之棟札アリ氏委キ一書記スルモノナケレバ不詳

辨才天

海上二十間斗沖ノ嶋アリ倉稻魂神ヲ祭ル社一尺ニ尺西向祭礼九

月九日ニ

惠美酒

ニヶ処アリ里人沖惠美酒地惠美酒ト云一処ハ海ヘニアリ西社氏
蛭児尊ヲ祭ル九月九日ヲ祭日トス何モ小社ナリ

荒神

素盞烏尊ナリ社三尺四方南向祭礼九月廿八日

常福寺

禪宗銀養山ト云本尊觀音照立不動多門天

笠島

海上一町ハカリ沖ニアリ古老傳モナシ

血輪

海上北方、十町斗リ沖ノ出端テガノ云古老ノ傳、昔神軍有レ時鬼
血凝テカタマリ一ツノ嶋トナリタリ

黒嶋

亀嶋

野井浦

日御崎太神宮

素盞烏尊大日靈貴五男三女ナリ本社五尺四方南向拜殿二間梁
三間祭礼九月九日、天正十九年建立、棟札アレ氏勸請曆代不知

加無利明神

椎ノ木ヲ神木トス祭日九月九日ナリ

奥御前

祭礼九月九日濱松ト云樹ノ神木トス

荒神

祭礼右同日

水神ニテ所

岡象女命ヲ祭ル

山神

大山咋尊ヲ祭ル神木濱松ナリ

阿弥陀堂

箱嶋

海上北間ハカリ沖ニアリ辨才天松ノ古木ナリ

築嶋

北ノ方海上五町ハカリ沖ニ有此地船津ナリ

塩濱

多古浦

八幡宮

社三尺四方祭祀九月朔日七坐ノ神夏有リ

荒神ニテ所

大日堂

観音堂ニテ所

阿弥陀堂

地藏堂ニテ所

野波浦

日御崎太神宮

素盞烏尊大日靈貴五男三女ヲ祭ル本社八尺ニ七尺五寸東向幣殿
九尺ニ七尺五寸拜殿二間梁五間半隨神門有リ祭祀九月二十九日十

月五日七坐ノ神夏有元和四年造立ノ棟札アルモ勸請年代不分明
宮山ノ中ニ亀滝住吉松トテ古木ニ株有俚民ノ傳モナケレバイナル故
アルモ知人ナシ

多賀明神

伊弉諾尊ヲ祭ル日御崎ノ楨社ヲ社ニ尺四方東向祭日モ日御崎ト
同日ナリ

八幡宮

譽田天皇ヲ祭ル是モ日御崎同日ノ祭礼ニ社ニ尺五寸四方東向

山王神社

妙見神社

兩神相殿ニ山王ハ大己貴命妙見ハ大山祇命ニ社六尺ニ五尺五寸西
向祭礼六月十五日幸行七坐ノ神夏アリ山王ニ玉垣松ト云傳テ古木アリ
由來知人ナシ天永二年造立棟札有天永ハ人王七十四代鳥羽院ノ御宇
ヨテ今宝永四年ヲテ百九十六年ナリ此社モ日御崎ノ末社ナレバ御崎モ
天永以前ノ社ナレバシ

客明神

倉稻魂命ヲ祭ル祭礼正月初午ノ日九月初丑ノ日百手ノ神夏トテ的
ヲイル

荒神八ヶ所

水神五ヶ所

山神ニテ所

国司明神

當浦ノ中小波ト云処ニ有大巳貴尊之社四尺五寸六尺南向祭リ

九月廿九日

八幡宮

此浦ノ中多古ト云処ニアリ譽田天皇ヲ祭ル社三尺四方西向祭日九月十五日ナリ

津守明神

沖泊ト云処ニアリ社二尺四方北向祭礼二月十月十九日ナリ

尔佐明神

瀬崎ト云処ニアリ都久豆美命之社五尺六尺北向祭礼十月初午日ナリ

地荒神

朽ノ木ヲ神木トス當城主ノ家臣大和諏媛ト云者ノ靈ヲ祭ルト云テ藤

本氏ノ屋敷ノ内ニ有今其子孫九月廿八日ニ祭ル

見徳寺

禪宗道休山ト云本尊釈迦胎立不動多門天安阿弥ノ作之境内某師堂有

圓満寺

禪宗ナリ本尊觀音胎立不動多門天正月二日此堂ニテ五穀成就祈禱有

安養寺

禪宗也本尊釈迦胎立不動多門天正月三日此堂ニテ浦中ノ土人五穀

成就ヲ祈ル同十一日鎌初儀式ヲナセリ

地藏堂

古城山

當浦ノ南ニ有城主林又六ト云人ナリ金村兵庫ト云人ナリトモ古老語侍レ
氏イヅレト定メカスシ城山ノ麓土井ト云所ニ柿ノ木アリ是ヲ神木トシテ荒
神ニ祭ル金村氏ノ末流今ニ九月中旬祭ヲ見レハ金村氏城主ナラシキ年
代不分明

城山

城主相見彈正ト云人ナリ伯耆ノ国相見郡八幡村ヨリ此処ニ來城主ト
成スベシ年曆不知城跡北ノ方海上ニヨリ

塩濱

ニヶ所有一ヶ所ハ小波ト云所アリ當浦ノ中ナリ

川

千畝谷川ト西流ナリ此川ニ鮎多シ風土記ニ載ス野波川是ナリ

松島

北ノ方ニアリ此島ニ鷹ノ巢アリ

瀬崎

今ノ俗仙崎ト云

加賀浦

風土記ニ載スル所郡家北西二十四里一百六十步今ノ道ニシテ四里ニ界ス

加賀大蘆御津此三所ヲ合セテ加々ノ郷トス

潜^{クハド}戸太神宮

伊弉諾伊弉冉尊ナリ本社一間半ニ八尺南向幣殿一間半ニ二間拜
殿二間梁ニ六間隨神門拜殿ヨリ此間橋有テ石^{シトリ}花表ノ外ニ流水有
相殿ノ左ノ社五尺四方天兒屋根命蛭兒素盞烏尊ヲ祭ル右ノ社四
尺四方五男三女ヲ祭撰社日御崎太神宮ハ太日靈貴素盞烏尊ヲ祭ル
此社四尺四方南向ナリ八幡社三尺四方南向菅田天皇神功皇后玉依姬ヲ
祭ル當国風土記ニ佐加地賣命^{サカチウメノミコ}葺キ岩屋カナト詔ヒテ金弓ヲ以テ射玉ヲ
時光^{トキ}アリ明ナリケレバ加々トエトアリ潜戸ノホラ西ノ入口ヨリ東ノ口ニテハ九十三
間有リ此間ニ北方ノ横ニ口アリ潜戸ノ縁起ヲ見ルニ神代ノ古ヘ伊弉

諾尊伊弉冉尊天照太神ヲ加賀ノ郷潜戸ニ産ミ玉ヒヨロコビノアマリ
ヨシト宣フ加賀ノ二字ハトモヨシト訓シ又ヨロコブト訓シスル字ナリ
故ニ加賀ト云今ノ世ニ人ノ産スルヲヨロコヒト云モ此縁ナリ又小兒母ヲセト
ミフモ此ニ始ルトカヤ太神生レ玉ヒシ時ノ遺風サマクアリ先石ニカマトニツ有
太神ノ産湯ヲアタメ玉ヒシカマドナリ今ノ世マテ人生レテ産湯ト云モ是ナリ
産屋^{ウマヤ}匣トテ石ニ切付アリ又産棚ト云アリ産飯ヲ備玉フ棚ナリト云太神
此処ニ生レ玉ヒシ故ニ誕生山潜戸ト云リ岩屋ノ内石面ヲノツカラニツノ乳
房ノ形アリ常ニ清水シタマリテ其味アマシ是伊弉冉尊ノ御乳房ニト
云石ノ乳房隻乳大ニシテ隻乳ノ小サレサルニ依テ加賀ノ生ルノ女ハ皆乳
房ニ大小有テ一人モ隻乳ノチイサカラヌハナシ此乳房ヨリシタル水海ノ

潮ニ落ミジワレル故也浦ノ海草コト浦ノ白リハ味スグレテヨシ古老神歌也
トテ云傳ル歌ニ

ウブヤフル昔モ今モ同母ノ乳ノシタハリノタル、間モナシ

神樂所トミアリ伊弉冉尊太神ヲ産玉ヒ六十一日ノ忌ヲ明シ玉フ処
ナリト云今神主巫女舞髮摩神樂ヲ奏スル処ナリ四方ノ石地ニ五色
ノ幔ヲ引ル形アリ是太神誕生ノ時産幕ナリト云又高天原ト云ハ
太神日夜影向シ玉フ所ナリ南北ニ所ノ高天原有其間ノ島ヲ屏風嶋ト
云南ノ高天原ハ伊弉諾尊鎮坐ナリ北ノ高天原ハ伊弉冉尊鎮坐シ
玉フ太神トシ玉ヒ産分ノ処ハ北ノ高天原ナリ又加賀ニ七浦ノ名五ノ嶋ノ名
アリ錦浦トハ太神此浦ニミリス時錦ヲ敷玉フ故錦浦ト云ニ寄浦ハ諸

神大神ヲ慰メ玉ヒガ為寄集リ玉フ処ヲ云ニ赤浦トハ異国ヨリ安胡利ト
云夷此浦ノワリシテ退治シ玉ヒ寸大勢殺シ玉フ其血煙ナリトテ赤
浦トハ云ニ華久利浦ハ竜宮ヨリ太神ハ金銀ノ二ノ花ヲ奉リシ故華久里
浦ト云ナリ鞍知浦トハ竜宮ヨリ太神ハ鞍鎧ヲ上リシ浦ナリ乙浦トハ竜神ノ
乙姫潜戸ハ参會アラントテ先此浦ナリタリトテ乙浦トハ云ニ留留浦トハ
日夜潜戸ニ七浦ノ淵潮干潮ノ合浦シユリ五ノ島ニ按嶋ト云有大神ノ
御稜ヲ納メ玉フヨリテナリ太神ノ冠ヲ木ノ根ニシテナリ鳥帽子
嶋氏云太神御髮ヲ結ヒ玉フ其根ヲ納玉フ処ヲ椽嶋ト云ヒ鬘ヲ納玉フ
処ヲ鬘嶋ト云馬嶋トハ竜宮ヨリ太神ハ神馬ヲ奉リシ時其馬ノヤスミ
ニ島ヲ云ナリ潜戸ニ社中ノ神伊弉冉天照太神ヲ祭ル東ノ社ハ天

〇下ニ字
心不分明

潮ニ落ミシワレル故也浦ノ海草コト浦ノヨリハ味スグレテヨシ古老神歌也
トテ云傳ル歌ニ

ウブヤフル昔モ今モ同母ノ乳ノシヌバリノタル、間モナシ

神樂所トミアリ伊弉冉尊太神ヲ産玉ヒ六十一日ノ志ヲ明シ玉フ処
ナリト云今神主巫女舞髮摩神樂ヲ奏スル処ナリ四方ノ石地ニ五色
ノ幔ヲ引ル形アリ是太神誕生ノ時産幕ナリト云又高天原ト云ハ
太神日夜影向シ玉フ所ナリ南北ニ所ノ高天原有其間ノ島ヲ屏風嶋ト
云南ノ高天原ハ伊弉諾尊鎮坐ナリ北ノ高天原ハ伊弉冉尊鎮坐シ
玉フ太神トシ玉ヒ産分ノ処ハ北ノ高天原ナリ又加賀ニ七浦ノ名五ノ嶋ノ名
アリ錦浦ハ太神此浦ニシラス時錦ヲ敷玉フ故錦浦ト云ニ寄浦ハ諸

神大神ヲ慰メ玉ヒガ為寄集リ玉フ処ヲ云ニ赤浦ハ異國ヨリ妾胡利ト
云夷此浦ハワリシテ退治シ玉ヒ寸大勢殺シ玉フ其血煙ナリトテ赤
浦ト云ニ華久利浦ハ竜宮ヨリ太神ハ金銀ノ二ノ花ヲ奉リシ故華久里
浦ト云ナリ鞍知浦ハ竜宮ヨリ太神ハ鞍鑿ヲ上リシ浦ナリ乙浦ハ竜神ノ
乙姫潜戸ハ参會アラントテ先此浦ハナリトテ乙浦ト云ニ留留浦ハ
日夜潜戸ニ七浦ノ湍潮干潮ノ合浦シユリ五ノ島ニ後嶋ト云有大神ノ
御稜ヲ納メ玉フニヨリテナリ太神ノ冠ヲ休ノ玉フ所ヲ冠嶋ト云リ鳥帽子
嶋氏云太神御髮ヲ結ヒ玉フ其椽ヲ納玉フ処ヲ椽嶋ト云ヒ鬘ヲ納玉フ
処ヲ鬘嶋ト云馬嶋ト云竜宮ヨリ太神ハ神馬ヲ奉リシ時其馬アヤシ
シ島ヲ云ナリ潜戸ニ社中ノ神伊弉冉天照太神ヲ祭ル東ノ社ハ天

〇下ニ字
心不分明

見屋根命蛭子素盞鳥尊ヲ祭ル西ノ社ハ天照太神ノ御子五男三女
正哉吾勝尊天穗日命天彦根命田心姬命湍津姬命市杵嶋
姬命瀛津嶋姬命ノ當社祭ル神合テ百二十一坐ナリ祭礼毎月朔日
十一日廿一日正月七日日植ノ神夏三月三日五月五日六月十五日七月
七日九月三九日節分ノ祭氏ニ年中四十五度ノ神夏ナリ天照太神此
潜戸ニ産レ玉ヒテニノ神喜テ曰吾息多トイハ氏若此靈異兒ハナシク
此國ニ留ムベカラズトテミツカラ早ク天ニ送リマウルベシトテ天上ノトヲツケ
玉フ此時天地ノハカリ遠カラサレハ天柱ヲ以テ天ニ送リ上玉フ後高天原
ヨリ倭姫命ノ夢ニ喻シ玉ヒケレバ倭姫命太神ノ教ニ隨ヒ齋宮ヲ伊勢
國五十鈴ノ川上ニタテ玉フ是ヲ磯宮ト云又度會ノ宮氏名ツケ又遂ニ此處
ニ鎮座シ玉フ今伊勢内宮ト云ニ潜戸ニ云傳ヘシ神詠有リ

伊弉諾ヤ伊弉册ノ代ノ連合ハ末ノ代マテモ契リ絶ヘセジ

産屋フル加賀ノ潜戸ハ産屋カナ天照神ノ生レ始子

按スルニ天和歌ハ陽神陰神破馭廬島ニラヒテ喜哉遇可美少女ト
唱ヘ玉ヒヨリヲコトイハ氏三十一字ノ故ハ素盞鳥尊八雲立ノ詠ヨリ初
レハ此歌イブカシケレ氏俚民ノ云傳ナレバモラサニモイカハトキ載侍リヌ

熊野神社

伊弉册尊夏解男命速玉男命ナリ社三尺四方東向祭日九月十日

天神社

菅丞相ヲ祭ル社三尺四方北向祭日九月廿五日ナリ古老ノ云此山ヲ

鏡山ト云リ鏡石ト云テ西崖石アリ天照太神ノ神鏡ヲ納メ玉フ所ナリト云傳フ

午頭天皇

素盞烏尊ノ社三尺四方東向祭日九月十一日ナリ

辨彥天

倉稻魂神ノ社二尺四方東向祭礼三月十三日九月十三日

古城八幡

社三尺四方南向古老傳曰當浦ノ地頭加賀官右衛門ト云者文祿年

中朝鮮征伐ノ時討先シタリケレハヨウカイ山ト云所ニ祭リ侍ル今ハ古城八幡ト

号セリ

荒神三ヶ所

水神

客明神

倉稻魂神ノ祭ル榎ノ神木トス

山神

飯山

古老傳云素盞烏尊此山ニ御供ヲ納メ玉フト云リ今里人竝飯山ト云ヘリ

新宮神社

此ヨリ下ハ皆加々ノ郷内別処ト云処有速玉男命ナリ本社一間四方南向

拜殿二間梁四間祭礼九月十九日七坐ノ神支有リ

小宮明神

社三尺四方南向祭礼九月十九日

稻荷明神

倉稻魂神之社二尺四方南向祭礼稻荷同日ナリ

妙見神社

大山祇命ナリ社二尺四方南向祭礼稻荷同日ナリ

荒神ニテ所

日御崎

大日靈貴ヲ祭ル榎ヲ神木トス

山神

滝権現

社一尺五寸四方北向祭日十一月廿八日之古老傳云此滝ハ天照太神御手

洗ノ滝ニ地主ハ竜王権現ト云夏解男命ヲ祭ル浮浪山加賀ノ滝ハ是ナリ

日御崎太神宮

是ヨリ下ハ皆加々浦ノ中依渡ト云処ナリ此社ハ天照太神也

客明神

荒神

水神

應海寺

禪宗觀潮山ト云本尊觀音脇立不動多門天ナリ

潮音山

禪宗本尊觀音

瀧觀音

別所村ノ内ニアリ禪宗浮浪山ト云本尊觀音毫王権現両躰有飛流ノ高サ三丈ハカリ

辻堂

石佛アリ

阿弥陀堂四ヶ所

觀音堂四ヶ所

藥師堂三ヶ所

地藏堂五ヶ所

要害山

古城山ナリ

風箏山滝

滝権現觀音有神歌ナリト云テ

面白ヤ面白ケレバ繪ニシクク嶋根ノ滝ト加々ノ濬カヲ

鏡岩

天神ノ前有古ハ光リモ明カナリケルトカヤ今ハ曇リテミユルナレ

湊

東西三丁南北二町アリ

繁座嶋

湊ノ内ニアリ此嶋ニ知布生ス節分ニ取テ大守ニ奉ル

五ノ嶋

カツラ嶋クミ嶋益嶋手嶋赤嶋ト云フ

加々川

風土記ニ見ヘタリ

大葦浦

国主明神

本社一間半二間西向拜殿二間梁四間隨神ハ本社左右アリ境
内十間十五間祭礼十月朔日七坐ノ神夏有リ當社ノ縁起ニ云風土記

大葦浦ハ大崎濱ト号スルニ国玉尊ハ大崎川邊社号シ伊弉諾尊ノ
祭レリ天地初テ生ルノ時国ノ主スルニ依テ国主明神トハ申ナリ此神
伊弉册尊ノ産ノ穢ヲ見テ潮ト水トノ界ニ來リ神意ヲ潔メ玉ヒ川
邊ニ社ヲ立ルニ依テ大崎川邊ノ社ト云ナリ世ノ人淨清ノ潮ヲム時ハ
今ニ至テ此濱邊ニ來テ身ヲ清ルナリ是神代ノ遺風ナリトカヤ宮山
ノ高サ十丈アリト云神代ヨリ宮化ナルヤ委クハ知シ子尼松ノ古木多イカ
サ古キ宮地ト見ケルナリ海上五里ハカリ沖ニ松島辨才天嶋有黒
嶋鳥帽子嶋ト云モアリ

母坂明神

社一間ニ五尺ノ拜殿二間ニ三間左右隨神アリ祭礼九月廿九日ニ風

土記ハ大崎神社トアリ伊弉諾伊弉册尊ヲ祭ル此神加々ノ潜戸ニテ
天照太神ヲ産モテ後嶋大崎ヲ好ミ上フヨリ大崎ノ神社ト云ナリ諸
神ノ母云ヨリ母坂明神ト云リ

天神宮

社四尺ニ五尺西向祭礼九月廿五日

熊野三所権現

伊弉諾尊支解男命速玉男命ニ社二尺ニ三尺東向

日御崎

天照太神ナリ社二尺ニ三尺東向

將軍社手守明神

社三尺五寸ニ四尺五寸東向宮山ハ古城山ナリト云是故ニ其処ヲ將軍谷
ト云イカナル人ノ城ニト云フハシラズ祭礼九月十九日

將軍森

城主ノ靈ニト云傳フレ由來不分明手守明神ノ宮山城手墓処ナレバ

辨才天

市杵島姬命倉稻魂命ヲ祭ル社二尺ニ三尺北向ナリ

天王

ニヶ所アリ素盞烏尊ヲ祭ル九月十一日神夏有リ

道祖神

猿田彦神ナリ

山神

大山祇命ヲ祭ル榆ノ木ヲ神躰トス

荒神二十一所

水神六ヶ所

瑞光院

禪宗ナリ本尊正観音

辻堂

木佛ノ地藏ナリ

阿弥陀堂四ヶ所

薬師堂三ヶ所

観音堂五ヶ所

地藏堂六ヶ所

蛇山

古此山ヨリ蛇ノ出タリ有ト云傳テ俚俗山ノ号トス

塩濱

黒島

馬嶋

此嶋ニ鷹ノ巢有此隼ハスケレテ逸物ニト云傳ヘリ

水浦

風土記御津濱ト書ス此処ノ丁ニ

本宮明神

伊弉册尊本社一間四方西向拜殿二間梁三間隨神門石

鳥居アリ二月十五日九月廿五日祭礼有風土記ニ載スル御津社ナリ

日御崎

天照太神ナリ社二尺四方祭礼十二月朔日ナリ

小嶋明神

濱ヨリ二町斗リ沖ヨリ山ノ高サ百間横百五十間斗リノ岩山ナリ市杵嶋姫

命ヲ祭ル社一間四方西向石葦表有三月十三日九月十三日兩度ノ祭日ナリ

高野明神

高照光姬大神命ニ社二尺四方祭礼二月十三日ニ

伊勢太神宮

天照太神ナリ社二尺五寸四方祭礼九月十三日ナリ

客明神

建御名方命濱松ト云木神ナリトス

山神

大山祇命ヲ祭ル

觀潮菴

禪宗之本尊正觀音

荒神

辻堂

木像ノ地藏ナリ

幕島

濱ヨリ七ノ町斗沖ニ有高サモ横モ百五拾間斗リモ有岩ノ色

五色トテ幕ノ如ク見ユルノ故ニ幕島ト云ヘリ

仲嶋猿渡

海中ニ有高サ十間斗渡ノ間八間ナリ古ノ猿ト云ル處ノ塩カキニ

來リ渡ル島ナリト云フ



